



マーケット・レポート

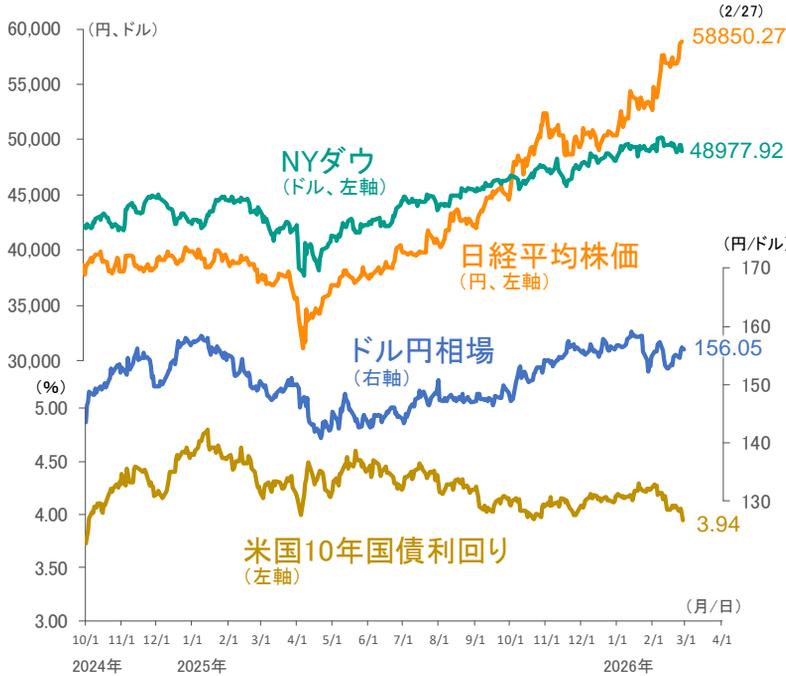
Weekly Guide

2026.3.2

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご覧いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、AI（人工知能）が既存事業に深刻な打撃を与えるとの懸念が金融セクターに広がったことや米・イランを巡る地政学リスクが意識されたことから、米国市場では株安・債券高となりました。週間騰落率は、NYダウ▲1.3%、ナスダック総合指数▲1.0%、独DAX指数は横ばい、日経平均株価は3.6%上昇し5万9000円台まで最高値を更新する場面がありました。10年国債利回りは米国が前週末比▲14bpの3.94%と3カ月ぶりに4%割れ、ドイツは同▲9bpの2.64%、日本は横ばいの2.12%で終わりました。ドル円は日銀の利上げ観測の後退を受け、前週末比1円程度円安・ドル高の156円5銭で引けました。

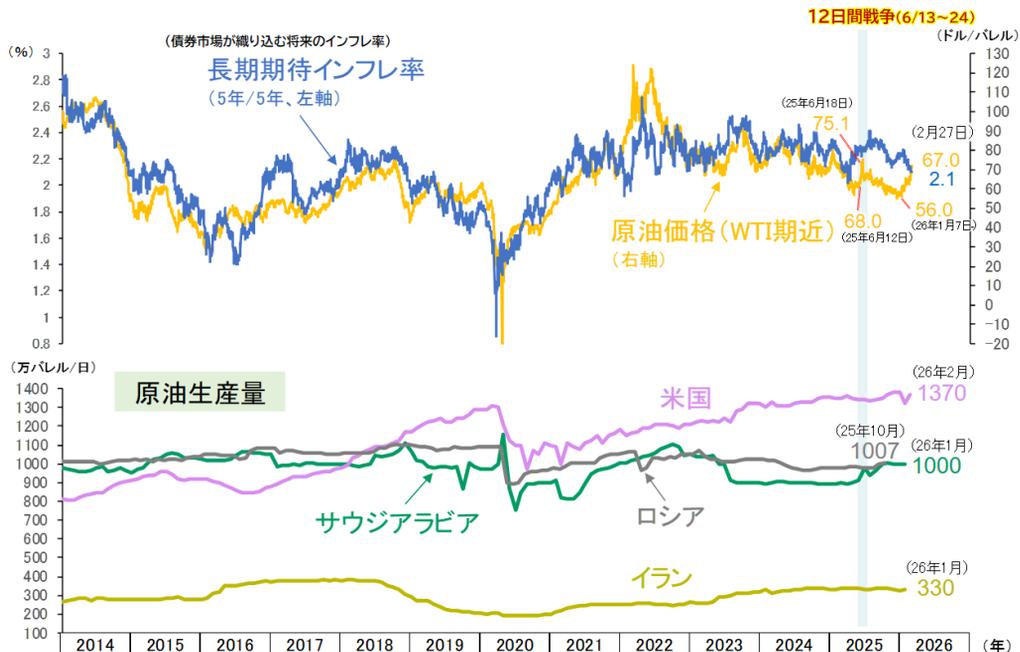
今週は、週末のイラン情勢を受けて、原油価格がどう動くかが最大の焦点となります。経済指標では米2月雇用統計とISM製造業指数が注目されます。両指標とも先月は予想を大幅に上回り米利下げ期待の後退につながりました。堅調さが維持されているかを点検することになります。

当面の注目イベント

- ◆ 日・水見野日銀副総裁講演 (和歌山) (2日)
- ★ 米・2月ISM製造業新規受注DI (2日)
- ★ 中・2月製造業PMI (4日)
- ◆ 米・2月ISM非製造業景況指数 (4日)
- ◆ 2月グローバル総合PMI (4日)
- ◆ 米・2月雇用統計 (6日)

★：りそな景気先行指数関連指標

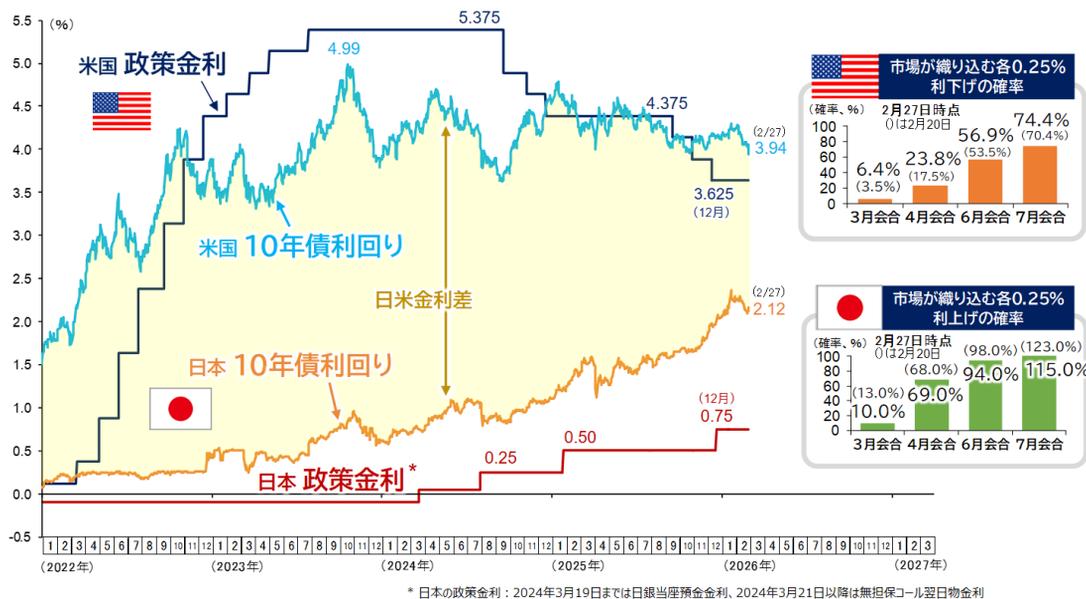
イラン情勢を受けて、原油価格がどう反応するか注視が必要です。昨年6月の『12日間戦争（米国とイスラエルがイランに軍事攻撃）』では、WTI期近は一時75ドルまで急騰しましたが、その後すぐに元の水準に戻りました



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

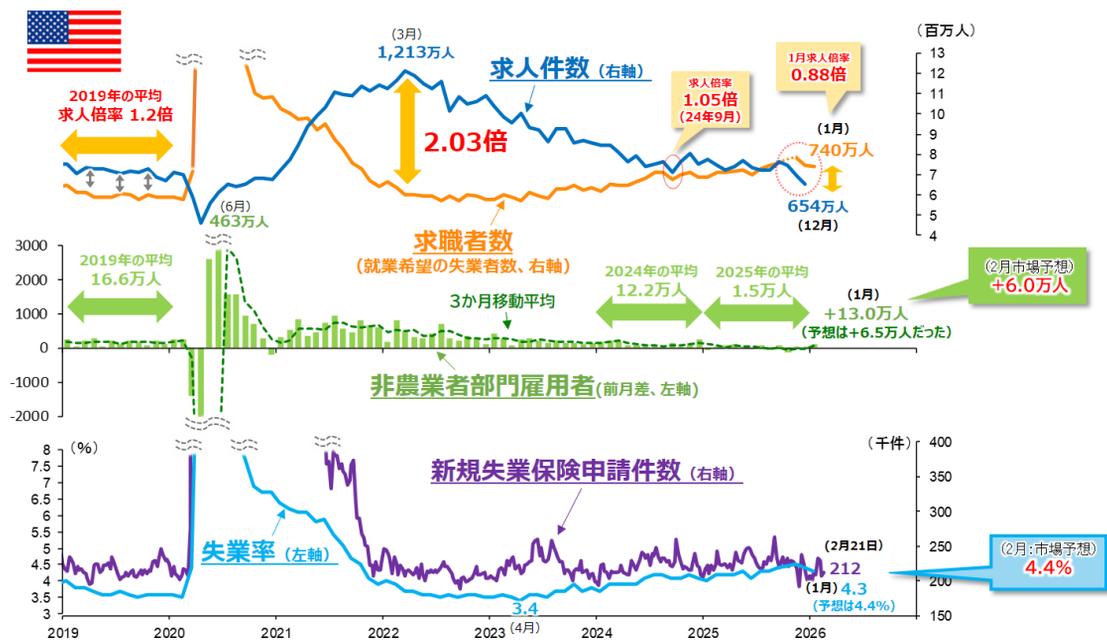
※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。

短期金融市場が織り込む4月日銀会合での0.25%利上げの確率は7割弱です。米FF金利先物市場ではウォーシュ新議長就任後初となる6月FOMCで0.25%の追加利下げが決定される確率を6割弱と見込んでいます



【出所】ブルームバーグ、CME グループ、東京短資等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

2月米雇用統計の事前予想は、非農業部門雇用者が+6万人（1月+13万人）、失業率は4.4%（同4.3%）です。1月は予想を上回り利下げ観測の後退につながりました。米雇用市場の底堅さを改めて点検することになります



【出所】BLS、Haver Analyticsの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年3月9日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡す「目論見書補完書面」を必ずご確認ください。